

大阪学院大学 2020—2021 秋学期

映画聴解

担当教員：

増田 良介
E-mail rmasuda@ogu.ac.jp
授業時間 木 13:00-14:30
オフィス 01-04-06
Office Hours 随時（オンラインで）
Subject code 2017

コース概要

映画『千と千尋の神隠し』（宮崎駿監督）を教材として、日本語の聞き取り能力を向上させ、日本文化の理解を深めることを目指す。

『千と千尋の神隠し』の日本語は、日常の会話に近い速さではあるが、明晰に発音されているため比較的聞き取りやすい。授業では、聞き取り練習とともに、重要な表現を毎回いくつか取り上げて練習する。

また『千と千尋の神隠し』には、日本の古い自然観や信仰が多く取り入れられているので、映画をより深く理解するのに必要な文化的背景や、映画に用いられている表現についても説明する。

参加する学生は、中級以上の日本語能力と、積極的な授業への参加姿勢が求められる。

使用教材

『千と千尋の神隠し』（宮崎駿監督）
授業ではハンドアウトを使用する。

課題／宿題

随時、課題を出すので提出すること。

出席

出席は非常に重要である。欠席する場合は必ず連絡すること。出席が3分の2以下になった場合、成績は出ない。また遅刻3回で欠席1回とする。

評価

評価は以下の項目によって行われる。

レポート（3回）	20%×3	宿題・課題	15%
出席	15%	授業への参加	10%

スケジュール

聴解を主として進めるが、毎回、その部分に関連したトピックについて解説する。なお、進行速度は受講者のレベル等によって変わる可能性がある。その場合、扱うトピックもそれに応じて変更される。

- 第1回 概説・日本の住宅事情
- 第2回 飛鳥の石造物
- 第3回 日本の神々
- 第4回 温泉と宴会文化
- 第5回 年季奉公の制度
- 第6回 日本の河川ゴミ問題
- 第7回 花々と季節感
- 第8回 日本人による日本人観
- 第9回 安倍晴明と陰陽師
- 第10回 宮澤賢治『銀河鉄道の夜』
- 第11回 日本人の輪廻観
- 第12回 龍と川
- 第13回 『千と千尋の神隠し』をめぐる諸説
- 第14回 日本の「お守り」
- 第15回 まとめ